



ローレル



県立日立第一高等学校  
附属中学校  
学校だよりNo. 142  
令和6年 3月 7日  
生徒数240名

教育目標：豊かな人間性と高い知性を有し、日本そして世界の未来を拓く次代のリーダーを育成する。

## 3月 「3月に寄せて」

校長 磯邊 裕一

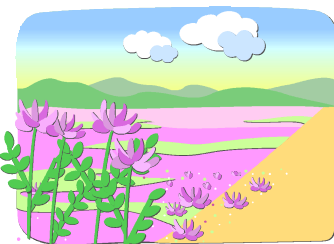
3月に入り、あっという間に一週間が過ぎました。今年も3月11日が近づいてきました。13年前の3月11日午後2時46分に、東日本大震災〔地震としては東北地方太平洋沖地震〕が起こりました。中学生の皆さんは生まれて間もない頃か幼児の頃で、記憶にはないでしょう。岩手沖～茨城沖の広い範囲の太平洋の海底で岩盤がずれ、マグニチュード9.0というそれまで観測したことのなかった強い地震が起こり、巨大津波が沿岸を襲ったのでした。日立市では震度6強を観測し、茨城県内でも広い範囲で地割れやがけ崩れが起こり、塀は軒並み倒れ、崩れてしまった家屋も見られました。道路もあちこちで通行止めになり、大渋滞や停電、断水が続きました。北茨城市の平潟、大津、磯原では津波で建物が多数流され、高萩市・日立市・東海村各沿岸部でも広い範囲で浸水しました。日立港や大洗港でも漁船やコンテナ、自動車等が流されました。潮来市など軟弱地盤のところでは液状化現象が起き、電柱が倒れました。常磐線も津波を受け、その後1か月不通になりました。

多くの学校では、6校時の授業が行われていました。校庭に避難したものの、迎えが来られず帰宅できずに、先生と共に夜を明かした生徒も少なからずいました。学校には近隣から避難する人が押し寄せ、臨時避難所になった学校では多くの中学生や高校生が、避難所運営の補助に当たりました。また、がれきの片付けなどボランティア活動に積極的に参加する生徒も見られました。臨時休校後の学校生活でも、被災した校舎で長く不自由な生活を強いられたところもありました。幼かった皆さんには分からないことばかりでしょうが、体験を聞いて語り継ぎ、忘れずにおきたいものです。来週月曜日は、それぞれ自宅で午後2時46分に黙祷を捧げましょう。

最後になりますが、中国の唐（とう）の時代に劉廷芝（りゅう ていし）という詩人がいます。『代悲白頭翁（白頭を悲しむ翁に代わって）』という詩の中に、次の有名な一節があります。

年年歳歳花相似 （ねんねんさいさい はなあいにたり）  
歳歳年年人不同 （さいさいねんねん ひとおなじからず）

「来る年も来る年も、花は同じように咲いているが、それを見る人は同じではない。」という意味で、移りゆく青春と世の無常さを詠んだ詩といわれています。私からは、一年歳を重ねた分だけ昨年とは違う自分になってほしいと、皆さんの成長を願って贈ります。



## ◇ 3月の主な予定 ◇

- 8日（金）生徒自宅学習
- 11日（月）生徒自宅学習
- 12日（火）お別れスポーツレク
- 15日（金）中学代休（3月17日分）
- 17日（日）中学登校日（金曜日課：弁当）
- 18日（月）卒業式予行
- 19日（火）中学卒業式
- 20日（水）春分の日
- 22日（金）修了式・高校入学予定者説明会Ⅰ（生徒・保護者参加）
- 23日（土）学年末休業（～4月7日）
- 25日（月）高校入学予定者説明会Ⅱ（生徒のみ参加）

## ◇ 4月の主な予定 ◇

- 5日（金）離任式
- 8日（月）始業式・新任式
- 9日（火）入学式（2・3年生自宅学習）
- 10日（水）対面式（中高合同）
- 11日（木）中学対面式
- 15日（月）個人面談期間（～19日（金））
- 16日（火）部活動見学（17・19日）
- 18日（木）全国学力調査（3年）・委員会活動
- 22日（月）保護者面談期間（～26日（金））  
第1回外部模試
- 23日（火）理社模試（全学年）
- 25日（木）歯科検診
- 26日（金）体位測定
- 30日（火）部活動正式入部

## ◆ シンガポール語学研修 ◆

2月11日（日）～16日（金）にかけて、3学年によるシンガポール語学研修を実施しました。平成30年度に実施した以来、5年間ぶりとなる海外研修とあって、生徒も実現できる喜びを感じていました。

今回の語学研修では、現地の大学生とのコミュニケーション活動やホームステイを中心として、海外の人との英語による対話を活動の中心としました。大学生とのコミュニケーション活動では、南洋理工大学で日本文化についてのプレゼンテーションを行い、大学生の英語による質問に堂々と答える姿が見られました。また、シンガポール国立大学に移動して現地の大学生との街歩き体験である「B&Sプログラム」も行い、大学生と市内を観光しながら交流を深めていきました。次の日にはホームステイを実施し、シンガポール市内の家庭の生活を1日体験しながら、ホストファミリーとの交流を深めました。帰国当日は市内観光を楽しみ、充実した語学研修となりました。

出発前は英語によるコミュニケーションにとまどいを感じていた生徒も、帰国日には「こちらでしばらく住んでみたい」という感想をもつようになりました。本校での英語の学習の成果が十分に表れた語学研修になりました。

